



『コロナ禍』で迎えた新年度も、私たちは基本的な感染防止対策を徹底しながら、一日一日を大切に過ごしてまいりました。『自分の命は自分で守る(安全)』と『基本的な生活習慣の獲得』を目指し、子ども自身が理解し、“ひとりでできた”という喜びを実感できるよう、丁寧にかかわって来たところです。日々の生活を積み重ねることにより、次にすることが分かった子ども達は、「〇〇しましょう」の言葉かけがなくても自分で考え、行動しようとする姿が多く見られるようになってきました。これからは“頑張っているね”と認めめの眼差しを子ども達に送りながら、保護者の皆様と手を携えてお子様の自立を支えてまいりたいと思っております。この一学期間、保護者の皆様にはお子様の体調管理等にご協力いただきまして本当にありがとうございました。

明日から夏休みに入ります。引き続きそれぞれが意識を高く持ち、やるべきことを実行し、できる範囲で思い出に残る夏休みをお過ごしください。来る始業式に最高の笑顔でお会いできることを楽しみにしております。

「なぜ大事なのか」が分かるように 話し合ひましょう

園生活で一番大切なこととして日々子ども達と確認している『自分の命は自分で守る』について、①なぜ大事なのか、②具体的にどうすればよいのかを夏休み前にご家庭でも十分に話し合ひ、相互理解していただきますようお願いいたします。

～具体的な命の守り方のポイント～

①車・バイク・自転車等からの守り方

※先日行われた『交通安全教室(年長組)』の取り組みの様子をHP(日記欄)に記載していますので、参照してください。

②水(海・プール等)からの守り方

- ・大人の人の近くで遊びましょう。
- ・話をよく聴き、約束を守って遊びましょう。(遊ぶ前に、各ご家庭で決めた約束ごとを再確認してから始めましょう。)

③暑さからの守り方 ※熱中症対策については右下も参照

- ・喉が渇く前に定期的に少量ずつ水を飲みましょう。
- ・戸外では必ず帽子を被りましょう。
- ・休憩をとりながら活動しましょう。



ありがとうの気持ちをこめて、拭き掃除をする満3歳児



心も体も成長中
毎月の身長・体重測定から
～年少組～



年中組は「蝉取り」→「観察」→「逃がそう!」が朝の日課になっています。



ドラムが2階に移動し、先ずは年長組の子どもから楽しんでいます。

熱中症対策

園では暑さが厳しくなる初夏の頃から、私たちの身の回りの「暑さ指数」(WBGT)を確認し、行動の目安としています。具体的には WBGT を計測する機器を使用し子ども達にも提示することで、子ども自身が暑さからの身の守り方を意識して行動できるようにと考え取り組んでいます。朝からの園庭遊びでは、機器を持つ教師のところに来て、「きょうはだいじょうぶ?」と尋ねる子どもの姿も見られるようになっていきます。

また、令和3年4月下旬からは、熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に、危険な暑さへの注意を呼びかけ、熱中症予防行動を促す「熱中症警戒アラート」が環境省と気象庁の連携により導入されました。保護者の皆様も夏休みのお出かけの際、ぜひ参考になさってはいかがでしょうか。みんなで大切な命を守りましょう。



英語活動を楽しむ
0.1歳

「せんせい、きょうはだいじょうぶ?」と表示を確認に来る年長男児



<編集後記> 去る7月1日、熊本市の生活安全課による「交通安全教室」が年長組を対象に開催されました。コロナ禍ということで日程が2度変更となり、ようやくできると思った日は、丁度「ノーメディアデー」の日。交通安全のビデオを視聴するため準備していたテレビを見つけた年長女児が、「きょうはノーメディアデーなのに、なぜテレビがあるの?」と尋ねてきたのです。やむを得ない事情とはいえ、配慮不足を反省すると同時に、共育だよりNo.2でお知らせしたことを保護者の方がその意味を含めて話していただいたことが分かり、とても嬉しくなりました。今後も園と家庭とで情報を共有し、子ども達の健やかな成長を支えてまいりましょう。日ごろは忙しくなかなか時間がとれない保護者の方も、この夏はぜひお子様との会話を楽しんでいただければと思っています。(北村)